

# 「そろそろ、ですよ！」

季節を安心して楽しむメンテナンス情報をマリモコミュニティからお届けします。



## 蒸し暑い季節 気になる家の「ニオイ」対策 どうしていますか？

きちんと掃除しているのに、室内のニオイが気になる。いやなニオイは原因を知り、すっきり取り除きましょう。

### 生ごみのニオイは重曹&酢で中和

キッチンやニオイ予防のために心がけたいのが、生ごみをシンク内に入れておかないこと。生ごみはこまめに取り除き、水気をきってからごみ袋に入れます。三角コーナーや排水口内のごみ受けは、ごみを取るたびにこすり洗いをしましょう。また、生ごみのニオイには、酢や重曹が有効です。生ごみはできれば直接ごみ袋に入れず、いったん新聞紙の上へ。重曹をふりかけるか、水で2倍程度に薄めた酢をスプレーしてからきっちり包み、ごみ袋に入れます。

新聞紙で包むのが面倒な場合は、生ごみをごみ袋に入れたあと、薄めた酢をスプレーしておきましょう。

### 布製品もニオイの原因に

クッションやカーテンなどの布製品もニオイの元。洗えるものなら、洗うのがいちばん。洗えないものは全体に重曹をふりかけ、2〜3時間おいてから掃除機で吸いとりましょう。

### こまめな換気も大切

ニオイ対策の基本は、こまめな換気。24時間換気システムつきのマンションでは常時稼働するとともに、できれば2カ所以上の窓を開けて室内に風を通しましょう。その際、湿気がたまりやすい下駄箱などの扉も開けておくと、より効果的です。

## 正しいお掃除&お手入れで フローリングを すっきりキレイに！

素足で過ごすことが増える季節は、フローリングの汚れも気になるもの。家族が気持ちよく過ごせるよう、ちよつと頑張つてピカピカに磨きあげてみませんか？

### 水拭きでさっぱり

フローリング掃除の基本は、掃除機がけ+から拭きです。でも、皮脂などのべたつき汚れはから拭きだけでは落としにくいので、ときには水拭きが必要です。床材を傷めないため、水拭きは短時間ですませるのがコツ。

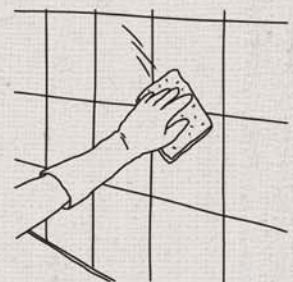
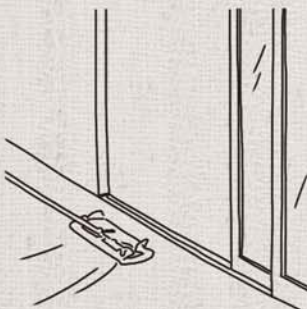
掃除機ではほこりを取り除いたあと、かたく絞った雑巾やウェットタイプの掃除用シートで、すみずみまでしっかりと拭きましょう。乾燥を早めるため、できれば窓は開けた状態で行います。

### しつこい汚れは洗剤で

水拭きだけではべたつきなどがとりにくいときは、酢やクエン酸を水で薄めたもの、またはアルコールを雑巾にスプレーしてから拭いてみましょう。汚れを落としたあとはかたくしぼった雑巾で水拭きを。

### ワックスでピカピカに

水拭き後の床が乾いたら、床全体にワックスをかけておきましょう。定期的なワックスがけには、床をきれいに見せるだけでなく、床材を守り、汚れをつきにくくする効果もあります。家庭用のワックスには、液状のものほか、掃除用のワイパーにつけられるシートタイプなど、手軽に使えるものなどもあります。



## 油汚れは 熱の力を借りて 落とす

キッチンで気になるところ、ベタベタの油汚れ。気温の高い夏場は油がかたまりにくいので、しつこい汚れになる前にさつと落とせます。

### ガスコンロは余熱を利用

かたまつた油は熱で溶けるので、軽いベタつき程度なら、熱めのお湯につけて絞つた雑巾で拭くだけできれいになります。ガスコンロのテーブルトップや受け皿、五徳なども、使用後の熱が残っている間に水拭きを。

### こびりつきはこすり洗い

水拭きしてもベタつきが残るときは、油汚れ用の洗剤を使います。しつこいこびりつきは、クリームクレンザーをつけたスポンジでこすつて落としましょう。